

近大奈良減災 NEWS

近畿大学奈良病院 DMAT災害対策委員会

vol. 01

2021. 1. 15

減災とは

みなさんこんにちは。突然ですが、「減災」という言葉をご存知でしょうか？あまり聞きなれない言葉かと思います。これまで災害に対しては、災害による被害を防ぐ(被害ゼロを目指す)という意味で「防災」という言葉がよく用いられてきました。しかし、1995年阪神大震災以降、どれだけ対策をしても被害を防ぐことができないような大きな災害が頻回に起こっています。そのため、災害による被害を防ぐのではなく、少しでも被害を減らせるような対策をしようという考え方に変化していきました。

このような変化の中で、「減災」という言葉が用いられるようになりました。

昨今の日本では、いつどこで災害が起きてもおかしくありません。これから、みなさんと一緒に「減災」をすすめていけるよう、この「近大奈良減災NEWS」を不定期ではありますが、更新していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

防災

・災害による被害をゼロに

・総論的 / 理想的な対策

減災

・災害による被害を最小限に

・具体的 / 現実的な対策

災害とは？

災害には、地震や台風といった自然災害と、航空機や列車事故、テロなどの人為災害があります。

自然災害・・・地震、津波、風水害（台風、竜巻、洪水）干ばつ、地滑り、雪害、森林火災、異常気象
人為災害・・・交通事故（列車、道路、航空機、海難等）、産業事故（爆発、化学物質、毒物流出）
特殊災害・・・テロ（核兵器、生物兵器など）

近畿大学奈良病院のある生駒市や平群町、王寺町など周辺地域に実際に起きた主だった自然災害は下記のような災害でした。

地震・・・1995年 阪神淡路大震災 震度4

2018年 大阪北部地震 震度4

台風・・・1982年 57水害（王寺町を主に、全壊66戸、半壊174戸、床上浸水1445戸、床下浸水272戸）

2017年 台風21号（がけ崩れにより近鉄生駒線が不通となる）

その他、上記以外にも災害による被害はありますが、大きな被害を受けた災害は近年記録されていません。県内全体でみても、南部では土砂災害等記録されていますが、北部に限ると自然災害による被害、特に地震による被害が少ないのが現状です。しかし、1707年の宝永地震ではマグニチュード8.4と記録されており（阪神淡路大震災、熊本地震はM7.3）、ここ百年間に大きな地震が、たまたま起きていないだけなのかもしれません。

生駒市周辺は、断層がいくつも重なりあっており、最大震度7の地震が予測されています。そのため、風水害はもちろんのこと、地震への減災対策もしっかり行っていく必要があります。



阪神淡路大震災



57水害



当院のDMAT隊員（一部）です。よろしくお願い致します！

文責：辻谷太・加藤宏樹

ご意見やご感想、ご質問等ございましたら、【患者さまの声】にお願いします。
（患者さまの声は、2階MACHIcafe右横の電話コーナー、各デイルームに設置しています。）